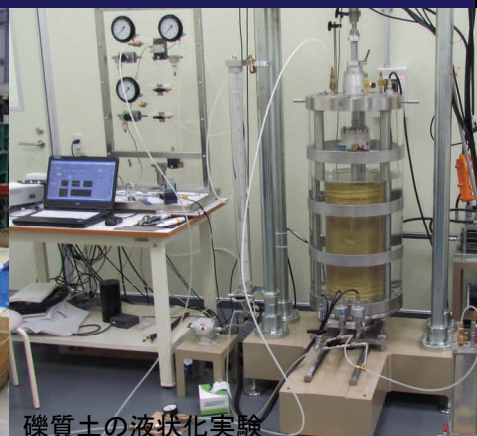
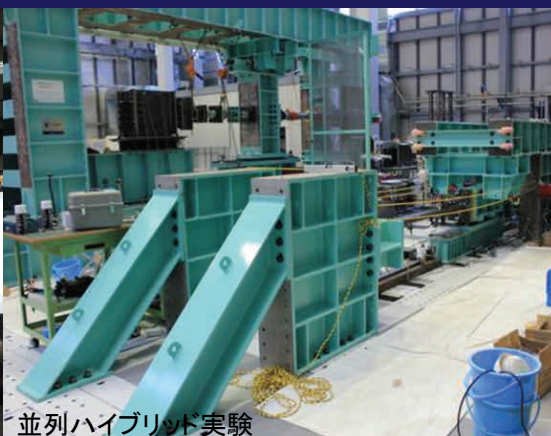


「名城大学と国土交通省中部地方整備局との連携・協力に関する協定」
締結記念キックオフイベント



木質フレーム震動破壊実験

並列ハイブリッド実験

礫質土の液状化実験

2014.6.13 Fri.

6月11日(水)より研究実験棟Ⅱにてパネル展開催



名城大学天白キャンパス 研究実験棟Ⅱ 2F 多目的室

CPDポイント: 4.0

*土木学会認定CPDプログラム

第1部 防災フォーラム 13:30-15:30

「21世紀型自然災害に向けた中部地方レジリエンス
—官・学の役割と連携に向けて—」

パネルディスカッション:

本フォーラムでは、中部地方の防災に向けた官・学における先端の取り組みを紹介し、21世紀型自然災害に“レジリエントな中部地方”のあり方を議論します。また、先進事例である国立大学と国土交通省中部地方整備局や国立大学間の連携に学び、中部地方整備局との連携協定“私立大学第一号”の名城大学の果たす役割や意義について考えます。

◆パネリスト

※敬称略

井口泰行(中部地方整備局総括防災調整官)
伊藤義人(名古屋大学教授)
高木朗義(岐阜大学教授)
富永晃宏(名古屋工業大学教授)
小高猛司(名城大学教授・NDRR代表)

◆コーディネーター

柄谷友香(名城大学 准教授)

第2部 NDRR研究成果中間報告会 15:50-17:50

- ◇「南海トラフ巨大地震に対する土木構造物の安全性と修復性の向上を目指して」 葛 漢彬(名城大学教授)
- ◇「大地震に対する各種建築物の耐震性向上への取り組み」 武藤 厚(名城大学教授)
- ◇「ゲリラ豪雨による都市水害・土石流のメカニズムと減災対策」 原田守博(名城大学教授)
- ◇「巨大災害からゼロメートル地帯を守る河川堤防の強化にむけて」 小高猛司(名城大学教授)
- ◇「中核被災者」による自立再建の実態と効用—陸前高田に学び、減災に生かす— 柄谷友香(名城大学准教授)
- ◇ 外部コメンテーターによる講評

大森博司(名古屋大学名誉教授・建築学会東海支部長), 野田利弘(名古屋大学教授), 第1部パネリスト ※敬称略

主催: 名城大学自然災害リスク軽減研究センター
後援: 国土交通省中部地方整備局, (公社)土木学会中部支部,
(公社)地盤工学会中部支部, (一社)建築学会東海支部,
(一社)中部地域づくり協会, 名城大学理工学部後援会,
名城大学技術士会

お問い合わせ: NDRR事務局 (E-mail: ndrckaisyo@gmail.com)

要予約・入場無料

※お申込みは、自然災害リスク軽減研究センターHP
(<http://ndrr.meijo-u.ac.jp/>) よりお願いします。